

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名・・・医療法人 仁風会 雲陽の里
 サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所
 会議開催日・・・令和 8年3月10日
 開催場所・・・雲陽の里
 出席者

事業所	1 人	利用者	人
利用者家族		地域代表者	4 人
松江市職員		包括支援センター	1 人
知見を有する者		その他 ()	人

活動状況報告

- 1) 入所状況について
 - ・2名が申し込んでいた特養に移られ7名になっている。新規入居者を選定中。
- 2) 生活状況・活動報告
 - ◎1月法人研修「医療安全の動向について」職員参加
 - ◎1/31 認知症対応力向上研修@安来第一病院、職員1名参加
 - ◎2月法人研修「トラウマインフォームドケア」職員参加
 - ◎4月外部評価の調査受け入れ予定
- 3) ・インシデント及び事故報告（4件）内容と対策について報告。

前回から報告数が減少している要因について、車椅子2名が特養入所となり転倒・転落がなくなっている事が大きいと考えている。
- 4) ・身体拘束及び虐待に関する報告なし。
- 5) 2/8の積雪については大きな混乱なし。朝食の運搬ルートを変更しただけで、昼食以降は通常ルートでの運搬が出来た。

意見交換

- 職) 職員が1名退職し、今の所補充されていないので忙しくなっている。勤務年数が長くなると年齢や健康面で不安がある職員もいる。できれば若い職員に入ってもらいたいが、介護の勉強をして卒業した人たちはどこで働いているのかと思う。
- 地) 介護職の給与は上限が抑えられていて、民間企業のようにやればやっただけもらえるような手当が無い。若い人には魅力がないのかもしれない。
- 地) 外国の方が介護職の給与が高いと聞く。日本で働いて技術習得して帰国し、自国で高収入で介護職に就く人もいるようだ。
- 包) 若い方の離職は多いかもしれないが、セカンドキャリアで落ち着いてから介護の資格を取った

方は比較的長く働く傾向がある。

職) いろいろ経験してから、それでも選んだ仕事なら続くという事だろうか。

包) 以前虐待案件で入所された方のご主人を、「男性介護者の集い」に誘ったら参加したいと返事があった。毎回5名程度の参加で講師とテーマを替えながら開催している。人数も適度なようでお互いに経験を話し合う事で、気づきやストレス解消の場になっているようだ。日頃の介護から少し離れて分かり合える人がいる事は良い刺激になっている。

職) お一人になってしまう事が気になっていた。今日も季節の花をもって面会に来ておられた。本来は優しい人だと思う。

包) 男性は仕事のように一生懸命に介護をする事があり、あまり一生懸命になりすぎてストレスになる傾向があるのではないか。

地) 女性だとその辺をいい塩梅に出来る事が多いのではないか。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価をうけることができたか	
<input type="checkbox"/> 要望・助言等を受ける機会を設けたか	